

## アクサムの水害復旧が選ばれる理由



### 他社にはない高圧バイオ洗浄

汚水・泥・菌・臭いの原因を微生物の力で徹底除去。  
「見た目」ではなく「原因」から洗い流します。



### 乾燥結果を数値で判断する除湿乾燥技術

感覚ではなく、含水率で正確に乾燥完了を判断。  
再発リスクを残さない、専門業者ならではの乾燥技術。



### 消毒・防カビ・防虫・脱臭まで徹底対応

専用の薬剤と機械で細菌・カビ・臭いまでまとめて処理。  
「その場しのぎ」ではなく、長期的に安心できるように復旧。

## COMPANY



### ADDRESS

本社  
〒323-0024  
栃木県小山市宮本町2-2-18

営業所  
〒373-0801  
群馬県太田市台之郷町862

### TEL

0120-966-407  
24時間 年中無休受付

### MAIL & WEB

info@aksam.jp  
https://aksam.jp



一般社団法人  
日本環境感染学会  
賛助企業会員



カビ除去認定技術者



本気の復旧



# 床下・床上浸水 水害復旧の 専門企業として

Water Damage Restoration Specialist

徹底排水

バイオ洗浄

除湿乾燥

消毒防カビ

見えない床下だからこそ「徹底」

# 水害復旧が なぜ「ただの清掃」では危険なのか？

見た目がきれいになっても、床下や構造内部に問題が残っていれば、それは「復旧」ではなく一時的な対処にすぎません。水害復旧で本当に重要なのは、見えない場所に残る「汚染」と「水分」です。



## 1 洗浄力が足りない

汚れは「洗う」だけではなく、「分解・除去」する必要があります。浸水した床下には、泥・排水成分・有機汚染物質・雑菌などが付着しています。水で流すだけの清掃では、汚れの表面を動かしているだけで、菌や有機物は木部や隙間に残留します。

### ▼その結果

- ・細菌・臭い・カビ・衛生リスクが残る。
- ・配管下など細かい部分に汚れが残る。



## 2 乾燥が不十分

構造内部に残った水分は、自然乾燥では抜けません。木材・コンクリートは、内部まで水分を吸い込みます。簡易的な送風や自然乾燥だけでは、内部に残った水分は抜けきらないことがほとんどです。

### ▼その結果

- ・カビの繁殖
- ・木材の腐朽
- ・コンクリート内の鉄筋のサビ・爆裂
- ・悪臭発生
- ・シロアリ被害



## 3 不適切な消毒

一般的な業者で使われることの多い下記の成分では、本来水害後の床下の環境での使用を前提に作られていません。

**NG① 次亜塩素酸**  
金属を腐食させてしまう  
殺虫・防虫効果は無い

**NG② アルコール**  
防カビ効果は無い

**NG③ 塩化ベンザルコニウム(逆性石けん)**  
防カビ効果は無い

これらの薬剤は日常の消毒には使用できても水害後の独特な汚染状況やカビの対策を視野に入れると不適切な使用と言えます。

### ▼その結果

- ・カビ再発
- ・悪臭再発

# 水害復旧専門業者アクサムと 他社ではここが違います

アクサムは一般的な清掃・リフォーム業者とは異なり、**汚染除去のレベル**そのものが違います。汚水・汚泥・雑菌などの汚染源を、床下の隅々までを専用のバキューム、高圧洗浄機、薬剤を使用して徹底して除去します。さらに、木部やコンクリート内部の水分量(含水率)を測定・管理し、構造材として**適正な含水率まで確実に乾燥**させます。水害専用の薬剤X590による消毒・防カビ・防虫処理までを一貫して行い、構造保護と二次被害防止を含めた**本質的な復旧**を行います。

## 1 高圧洗浄+専用洗浄剤による徹底した汚染除去



高圧洗浄機と微生物配合型洗浄剤を併用し、床下に付着した汚泥・雑菌・汚水成分・臭いの原因物質まで徹底的に除去します。単なる真水洗いではなく、菌や有機汚れを分解・除去する「バイオ洗浄」により、目に見えない汚染源まで取り除きます。

## 2 水害用除湿機による「強制除湿乾燥」



水害復旧専用の高性能除湿乾燥機を使用し、床下・構造部を強制的に乾燥させます。

「乾いたように見える」状態ではなく、含水率・湿度を数値で管理し、構造材として適正な基準値まで確実に乾燥。カビ・腐朽・臭い・基礎内部鉄筋のサビなど湿気による二次災害の発生リスクを根本から抑えます。

## 3 水害復旧専用の薬剤を使用



水害復旧現場専用の高性能薬剤を使用します。一般的な薬剤とは異なり、金属腐食を起こしにくく、構造材に優しい処方で、消毒・防カビ・防虫・殺虫まで一括対応。床下環境を衛生的に長期保護します。

## 重要ポイント

豪雨水災発生時に自治体や一般的な情報では、消石灰、次亜塩素酸や、逆性石鹸などが、応急的な消毒方法として紹介されることがあります。これらは、表面の衛生リスクを一時的に下げるとして「応急対応」としては有効な場合もありますが、床下浸水後の環境においては、本格的な復旧や再発防止を目的とした処理としては不十分なケースが多く、さらには取り扱う上で失明などの重大なリスクもあります。

アクサムでは、水害・床下環境専用として設計された復旧用薬剤と工程を用い、消毒、防カビ、防虫、脱臭など衛生環境の長期的な回復を行います。これが、水害復旧専門の弊社と、行政や一般的な業者が行う応急的、一時的な消毒との大きな違いです。

## AKSAMについて

弊社は、床下浸水・床上浸水の復旧に特化した

### 「水害復旧専門企業」です。

私たちは水害に対し、単なる「清掃」ではなく衛生回復・徹底乾燥

住宅保護・二次被害防止までを含めた“本質的な復旧を提供しています。

高圧バイオ洗浄による徹底洗浄、水害復旧専用除湿機による強制乾燥及び

含水率を数値で管理する乾燥工程、水害専用消毒液X590による消毒・防カビ

防虫処理、オゾンガス燻蒸による分子レベルでの脱臭など、一般的な清掃業者や

リフォーム業者では対応できない専門工程を標準施工としています。

アクサムが目指すのは、その場しのぎの対応ではなく、見えないところの隅々まで確実に

に復旧し、安心して暮らせる環境の再構築です。

私たちは“本気の復旧”で  
住まいと暮らしを守ります。



一般社団法人 日本レストレーション協会正会員

事例：洗濯機配管からの漏水による床下浸水を復旧 (<https://aksam.jp/result/20240304/>)



## お客様から頂いたお声



YouTube動画



ヘアーズN 代表 原様

洗濯機配管からの漏水による床下浸水を復旧させていただいたお客様に、ご承諾のうえで作業光景と復旧完了後のインタビュー映像をYouTubeにて公開させて頂いております。参考までには是非ご覧ください。

質問：今回の浸水被害はどのような経緯で発覚されたのでしょうか？

答え：匂いが1番の原因です。匂いが無かったら、分からなかったかもしれないです。

質問：どのような匂いを感じられましたか？

答え：もろに下水の匂いです。卵の腐ったような。

質問：浸水が発覚した当初はどのような対処をお考えになりましたか？

答え：漏水修理を依頼した水道屋さんに聞いても、いい返答が得られなかったため自分でネットで床下の清掃してくれる業者を探してみることにしました。

質問：弊社の復旧作業をご覧になられて、どのように感じられましたか？

答え：大変だなと感じました。特にうちは店側の床下が狭く、しゃがめる高さもなく、匍匐前進で作業されている様子を見て、情熱がないと出来ない仕事だなと思います。

質問：復旧作業を経て床下の悪臭は改善されましたか？

答え：いやもう全然匂わず元通りになりましたね。

完璧に消えました。

## RESCUE

直近の豪雨災害出動履歴

※自然災害に限る。漏水は除く

### 2023年

7月 秋田市大規模豪雨災害

- ・秋田県秋田市
- ・秋田県南秋田郡五城目町

10月 台風13号による水害

- ・茨城県日立市
- ・茨城県北茨城市
- ・茨城県高萩市

- ・福島県いわき市
- ・千葉県茂原市

- ・千葉県長生郡長南町

### 2024年

7月 山形県酒田遊佐豪雨災害

- ・山形県酒田市

7月 埼玉県 線状降水帯水災

- ・埼玉県川越市
- ・埼玉県富士見市

7月 東京都 ゲリラ豪雨水災

- ・東京都渋谷区
- ・東京都板橋区

9月 神奈川県 線状降水帯水災

- ・神奈川県中郡二宮町

### 2025年

9月 東京・神奈川豪雨災害

- ・東京都大田区
- ・東京都品川区
- ・東京都目黒区
- ・神奈川県川崎市

その他年間を通して、漏水・雨漏りによる水害復旧実績多数ございます。

## 床下のバキューム吸引作業

洗浄前に、汚水・汚泥を「残さず吸い出す」

床下に滞留した汚水や汚泥、洗浄水を、業務用バキューム機を使用して吸引、排出します。

25mの吸引ホースの先端を持ち床下の奥深くまで潜行し、目に見える範囲だけでなく、隅々まで徹底的に吸引を行います。

床下の凹部や低い部分に溜まった汚水・汚泥は、悪臭や雑菌、カビの原因となるため、できるだけ早く、確実に排出することが重要です。

この工程で汚水や汚泥をしっかりと吸引しきることで、次工程の高圧バイオ洗浄時に、汚水や汚泥の飛び跳ねや再付着を防ぎ、洗浄効果を最大化します。

バキューム吸引は、後工程の品質を左右する、非常に重要な初期工程です。

バキューム吸引作業  
施工動画  
はこちら



## 高圧バイオ洗浄+細部洗浄

汚れ・雑菌・臭いの原因を、床下の隅々まで徹底洗浄

床下に付着した汚泥・有機汚染物質・雑菌などを、高圧洗浄機と専用洗浄剤を併用し、床下全体を対象に徹底的に洗浄します。

基礎の汚染が付着している箇所に対して、高圧の水圧と専用洗浄剤の分解作用により、こびり付いた汚れを剥がし取るように除去していきます。

また、高圧洗浄をかけられない配管が密集している箇所や、際端・細部については、手洗いによるブラッシング洗浄を行い、汚れを残さないよう、一本一本、丁寧に洗浄します。機械による洗浄だけに頼らず、人の目と手による細部洗浄を併用することで、床下全体の洗浄品質を高いレベルで確保します。

この工程により、汚れや汚染を、表面だけでなく、床下の隅々までしっかりと除去し、後工程の乾燥・消毒・防カビ処理の効果を最大化します。

高圧バイオ洗浄+細部洗浄  
施工動画  
はこちら



### 効果持続型洗浄剤



|       |               |
|-------|---------------|
| 【洗浄剤】 | グランバイオ “プロ”   |
| 含有物   | プロバイオティクス(5種) |
| 含有PB量 | 5,000万個/cc    |
| PH    | 9.0           |

厳選した5種類5千万個の生きたバイオと100%植物由来の洗浄成分のみで調合された洗浄剤。プロバイオティクス(善玉菌)の効果で今までの洗浄剤では取りきれなかったニオイや、汚れを根本的に除去、分解。瞬間的な洗浄・消臭ではなく、持続的な効果が得られる床下浸水後の洗浄に最も適した洗浄剤です。

## 除湿乾燥作業 (水害復旧用除湿機導入)

床下の湿度・水分を数値管理で完全乾燥

床下の広さや構造に応じて、床下に送風機を5~10台設置し、点検口には水害復旧用除湿機を設置します。床下の湿った空気を除湿機で吸い込み、強力に除湿された乾燥した空気を、送風口に接続した透明のビニルダクトを通して床下全体に送り込みます。

ビニルダクトは床下で膨らませながら敷設し、要所に切れ目を入れることで、乾燥した空気が床下の各所から均等に吹き出す仕組みを作ります。吹き出された乾燥した空気は、床下に設置した送風機によって大風量で循環させ、床下全体を包み込むようにして、強制的に乾燥させます。

除湿機で取り除かれた水分は、ホースを通して洗面所やキッチンシンクなどへ自動的に排水され、床下から大量の水分を連続的に屋外へ排出します。

アクサムが導入している米国フェニックス社製の水害復旧用除湿機は、1日あたり最大約60Lの水分除去が可能で、家庭用除湿機とは比較にならない除湿能力を発揮します。

乾燥期間は床下の広さや被害状況に応じて4~7日程度を設け、その間、除湿機と送風機は24時間連続で稼働させます。

除湿乾燥作業  
施工動画  
はこちら



## 乾燥結果の確認方法

乾燥の完了は、見た目だけで判断するのではなく、「含水計」という専用の測定器を使用し、コンクリート内部や床下地木部の内部の水分量を数値で確認します。

コンクリートは20%前後、木部は15%前後を目標値とし、基準値に達したことを確認したうえで、次の工程へ進みます。

水害復旧の**プロ**は  
見た目ではなく、数値で「乾燥」を確認します。



# 消毒・防カビ・オゾンガス燻蒸作業

消毒・防カビ・オゾン  
施工動画  
はこちら▶



消毒・防カビ・殺虫・防虫・脱臭まで一貫対応

アクサムでは、水害復旧に特化した専用の消毒・防カビ剤「X590」を使用し、床下全体に噴霧処理を行います。

一般的な清掃業者が使用する家庭用消毒液や簡易的な除菌剤とは異なり、水害後の床下という環境を前提に設計された、専用の薬剤を使用します。X590は、汚水に含まれる細菌・カビへの効果に加え、防カビ効果による再発リスクの低減を目的として使用します。

床下の木部・コンクリートなど、薬剤が直接触れる部分に対して確実に作用させることで、床下の衛生状態を回復させます。



消毒防カビだけでなく**害虫対策成分**まで含まれています。

また、X590にはゴキブリなどの害虫に対する殺虫効果・防虫効果も含まれており、水害後に発生しやすい床下の害虫対策としても有効です。

単なる「除菌」ではなく、衛生環境の回復と再発防止、害虫対策までを見据えた総合処理を行うことが、アクサムの水害復旧の大きな特長です。



| 市販薬剤との比較表 | X590        | 次亜塩素酸       | 逆性石けん<br>(塩化ベンザルコニウム) | オゾンガス     |
|-----------|-------------|-------------|-----------------------|-----------|
| 用途設計      | ◎ 水害後の消毒防カビ | △ 日常消毒・清掃用  | △ 日常消毒・医療・清掃用         | ◎ 空間殺菌・脱臭 |
| 殺カビ効果     | ◎ あり        | ◎ あり        | ○ あり                  | ◎ あり      |
| 防カビ効果     | ◎ あり        | △ なし        | △ なし                  | △ なし      |
| 防虫効果      | ◎ 殺虫・防虫効果あり | × なし        | × なし                  | ○ 忌避性あり   |
| 消臭効果      | ◎ あり        | △ 一時的に軽減    | △ 一時的に軽減              | ◎ 強力な脱臭力  |
| 建材へのダメージ  | ◎ なし        | × 金属腐食リスクあり | ○ 比較的低い               | ○ 比較的低い   |
| 持続性       | ◎ あり        | × なし        | × なし                  | × なし      |

※オゾンガスは細菌分子や匂い分子と結合して酸化分解したあとは、O3(オゾン)から浄化されたO2(酸素)へと変わり残留しません。また、オゾンの酸化性能を考慮し、構造材への影響を抑えながら安全にオゾン処理を行っています。

# くんじょう X590 + オゾンガス燻蒸で 『床下空間を徹底してクリーンに』

消毒

防カビ

防虫

脱臭

オゾン生成機 Panther-J  
オゾン発生量 7,500mg/h  
1台で他社製品10台分の性能

## 薬剤+ガスのダブル処理で「表面」と「空間」を同時にリセット 薬剤が届かない「空気と隙間」までオゾン処理

X590による薬剤処理は、木部やコンクリートなど「薬剤が直接触れる表面」に対して高い効果を発揮します。

しかし床下には、木と木のわずかな隙間、基礎と土台の取り合い部、床下と壁内部につながる空間など、薬剤が物理的に入り込めない領域が数多く存在します。

こうした空間には、カビの胞子や細菌、臭いの原因物質が空気とともに滞留・拡散し、表面だけを処理しても再発の原因になることがあります。

オゾンは、木部の隙間、構造内部の空間、壁の中につながる見えない領域まで入り込み、空気中および隙間内部の菌・臭いの原因に直接作用します。

この2つを組み合わせることで、床下全体を「表面」と「空間」の両面からカバーし、見た目だけではなく、本質的な衛生環境の回復と再発リスクの低減を実現します。

### Microban X590

SDSによる主な成分表

- o-phenyl phenol - 強力な抗真菌(カビ)成分
- Isopropyl alcohol - 即効性の殺菌・殺ウイルス成分
- N-Octyl Bicycloheptene... - 防カビ補助成分
- Pyrethrins - 殺虫成分
- Piperonyl Butoxide - 殺虫成分の効果を高める成分
- Diisobutylphenoxyethoxyethyl... - 抗菌安定化成分

### EPA認証済み薬剤

EPA認証済み薬剤とは、米国環境保護庁(EPA)が有効性、安全性、を審査・登録した薬剤のことです。

- 科学的に効果が確認されている
- 適切な使用条件が明確に定められている
- 環境・人体への影響が評価されている

という、公的機関の基準をクリアした薬剤という意味です。

### オゾンガスによる除菌・脱臭のしくみ

オゾンは、細菌や臭いの分子そのものを酸化分解して破壊します。細菌や臭いの「元」を破壊するため、根本的な脱臭が可能です。

綺麗な酸素へ変化

## 床下断熱材まで浸水してしまった場合

集中豪雨などにより床下浸水が発生した際、床下に設置されている断熱材の種類によっては特に注意が必要です。

グラスウールや発泡ウレタンなどの断熱材は、浸水が床下断熱材の高さまで到達すると、**毛細管現象により汚水を大量に吸い上げてしまう**特性があります。

これらの断熱材は構造上、一度吸い上げた水分や汚水を内部に保持しやすく、表面が乾いて見えても、内部には汚水が残留しているケースが非常に多くあります。

右の写真は、**浸水から1ヶ月以上が経過**した住宅の床下断熱材を実際に握った際、内部に溜まっていた汚水が滝のように大量に流れ出た様子です。

このような状態では、**水を含んだ断熱材に接している木部の含水率が高い状態**が続き、カビの発生、木材の腐朽、悪臭の発生、衛生環境の悪化など、衛生面・構造面の両方において重大なリスクにつながります。



断熱材(グラスウール)が水の重さでたわんでいる様子



浸水から1ヶ月以上経過していてもなお、これほど多量の水を含んでいる。

## 床下断熱材の除去作業

このように、断熱材が汚水を含んでしまった場合は、乾燥や消毒のみでは十分な対応とはならず、**撤去が適切な判断**となります。撤去後は、構造材に対してカビ除去、除湿乾燥を行い、含水率を適正值まで確実に低下させる必要があります。



断熱材撤去作業の様子



断熱材撤去後に触れていた木部の含水率は42%と非常に高く、カビや腐朽リスクがある適正值は15%

また、アクサムでは撤去した断熱材の新規施工にも対応可能ですが、一度大雨による浸水が発生した地域では将来的に再度浸水してしまうリスクも高いため、床下断熱材の再施工は**原則として推奨していません**。

これは再び浸水した場合に同様の被害が繰り返されるリスクを避けるためであり、お客様の住まいを長期的に守る観点からの判断です。



浸水した断熱材に触れていた木部分に発生したカビ

## カビ除去作業 (ゴールドモア工法)

カビ除去作業  
施工動画  
はこちら▶



床下浸水が発生した場合、床下の土台や大引き、根太などの**木部は湿気により水分を含んだ状態**になります。表面が乾いて見えても、木材内部には水分が残りがやすく、含水率が高い状態が長期間続くことがあります。このような環境では、空气中に存在するカビの胞子が付着・発芽し、床下地の木部にカビが発生するケースが少なくありません。

## カビ除去作業(ゴールドモア工法)

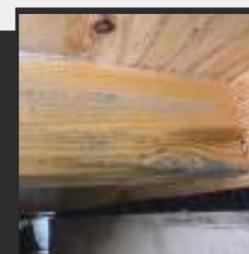


アクサムでは、カビ胞子の除去を目的として独自に開発されたゴールドモア工法を用いた、専門的なカビ除去施工を行っています。

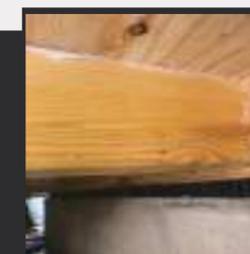
ゴールドモアは、構造部や多孔質素材に入り込んだカビやカビ胞子までを対象とした、**きわめて高い除去能力**を持つ、**水害復旧向けのカビ除去システム**です。

市販のカビ取り剤が、表面のカビを対象とするのに対し、ゴールドモアは、構造材の奥に根を張ったカビや、再発の原因となるカビ胞子レベルまでを想定したレベルのカビ除去を目的としています。

アクサムは、ゴールドモアの**マスターテクニシャン認定**を受けた施工業者として、**ハイレベルの知識と技術を持つ専門技術者が、現場の状態に応じた最適な方法でカビ除去を実施**します。

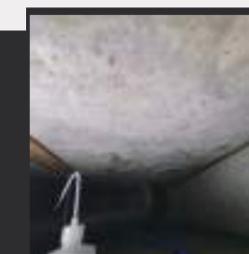


施工前

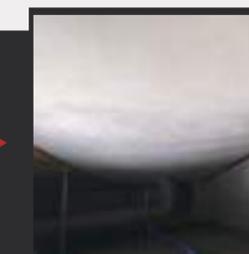


施工後

木部のカビ除去ビフォーアフター



施工前



施工後

断熱材表面のカビ除去ビフォーアフター

## 床上浸水の場合

床下だけでなく、床上・内装まで復旧が必要です

床上浸水が発生した場合、復旧は床下浸水の対応だけでは完結しません。

床上まで水が到達した場合、床・壁・断熱材・内装下地など、目に見えない部分にまで汚水や水分が浸透している可能性が高く、床下と同時に床上側の処置が不可欠となります。

その浸水状況や汚染の程度によっては、乾燥や消毒だけでなく、内装材の一部撤去交換など、リフォームを伴う復旧対応が必要となるケースもあります。

これは見た目を元に戻すためだけでなく、内部に残った水分や汚染を確実に除去し、将来的なカビ・腐朽・臭いの再発といった二次被害を防ぐために重要な判断となります。

## 壁内の断熱材が汚水を吸い上げてしまう

床上浸水では、床にあふれた汚水が、巾木(はばき)などのわずかな隙間から壁内部へと入り込みます。

その結果、壁の中に施工されているグラスウールなどの綿状断熱材が水を吸い込み、内部まで浸水してしまいます。

この状態で、表面だけを乾かしたり、簡易的な清掃のみで済ませてしまうと、



壁内の断熱材が浸水するイメージ



床を解体した様子

- 壁内部に水分が残留する
- カビや腐朽の進行
- 臭いの再発・残留
- 壁内・床内での見えない劣化

といった二次被害が、数週間～数ヶ月後に発生するケースがあります。

そのため、床上浸水では、床下復旧に加えて、床上の内装・壁内部まで含めた適切な処置をセットで行うことが、建物と住環境を長期的に守るうえで非常に重要です。

## 専用機材による「壊さない乾燥」にも対応

壊すだけが正解ではありません。水害復旧専門企業だから実現できること

床上浸水では、壁や床を開口して内部を乾燥させることが、最も確実な復旧方法となるケースもあります。一方で、状況によっては、内装を大きく壊さずに、壁内・床面内部を乾燥させることが可能な場合もあります。

アクサムでは壁内乾燥機・床面乾燥機などの水害復旧専用機材を導入しており、建物の構造に応じて、

- 壁を解体して確実に乾燥させる方法
- できるだけ内装を壊さずに乾燥させる方法

の両方を検討したうえで、最適な復旧方法をご提案しています。

これにより、

- 解体・復旧工事の範囲を最小限に抑える
  - 工期や費用のご負担を軽減
  - 生活への影響をできるだけ抑えた復旧
- といった対応が可能になります。

## 特殊乾燥機の導入

壁内乾燥機



床面乾燥機



壁の中やフローリングの隙間など、通常は空気が流れず、水分が閉じ込められやすい「見えない空間」に、乾燥した温風を直接送り込むことで内部から乾燥させる、水害復旧専用の乾燥機材です。

なお、すべてのケースで「壊さずに済む」わけではありません。

含水率や汚染状況、構造によっては、解体・交換を行うことが建物にとって最も安全で確実な場合もあります。アクサムでは、目視だけで判断するのではなく、含水率測定と現地状況をもとに、建物にとって最も合理的な復旧方法をご提案します。

# 作業工程スケジュール

**床下浸水の場合** 全体工期6日～11日 ※浸水水位によっては床下断熱材の撤去が必要となる場合があります。

## 排水・洗浄工程

工期1日～3日

## 乾燥工程

4～7日間連続稼働

## 仕上げ工程

工期1日



**床上浸水の場合** 全体工期17日～1ヶ月以上

## 解体工程

工期1日～2日

## 排水・洗浄工程

工期1日～3日

## 乾燥工程

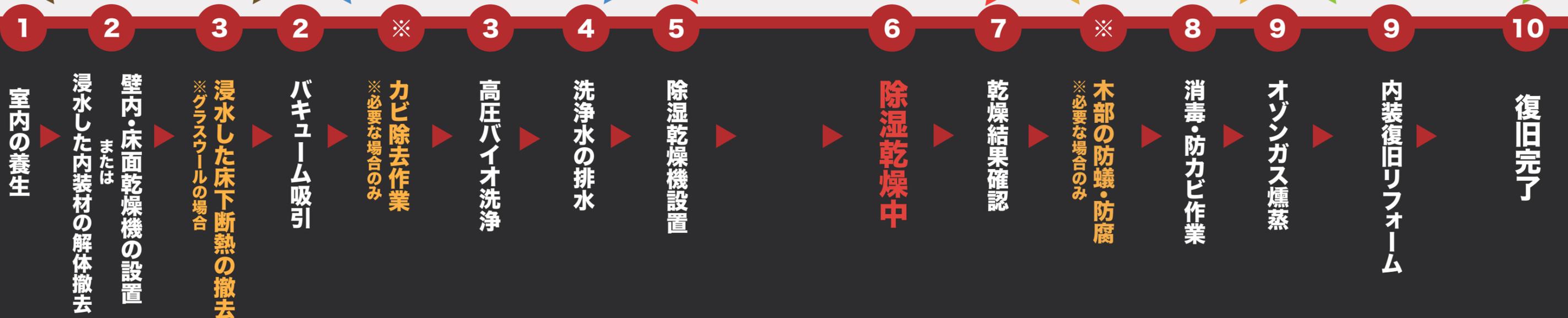
7日～10日間連続稼働

## 仕上げ工程

工期1日

## リフォーム工程

工期7日～1ヶ月前後



## よくある質問 Q&A

### Q. 工事期間中は、ずっと立ち会ってないといけませんか？

A. いいえ、工事期間中ずっとお立ち会いただく必要はありません。基本的に、お立ち会いをお願いしているのは下記の工程のみです。

- ・初日の「洗浄・排水作業～乾燥機設置」まで 1～2日間
- ・最終日の「仕上げ・機材撤去」時 1日(通常2時間～5時間程度)

通常は合計2日間または3日間のみのお立ち会いで完了するケースがほとんどです。乾燥期間中は、作業員の出入りはなく、お立ち会いは不要です。

また、お仕事などのご都合でお立ち会いが難しい場合は、合鍵の場所をご共有いただくことで、ご不在での施工も可能です。セキュリティ面を考慮し、原則として玄関または勝手口から点検口までの最短動線のみで作業を行います。

ただし、乾燥機の電源確保のため、他のお部屋のコンセントを使用する必要がある場合があります。その際は、作業開始日に約30分程度のお立ち会いをお願いしています。また、最終日の撤去時にも、電源回収のため約30分程度のお立ち会いをお願いする場合があります。ご都合に合わせて、できる限りご負担の少ない形で調整いたしますので、事前にお気軽にご相談ください。

### Q. 復旧後の保証はありますか？

A. アクサムでは、復旧品質を数値と結果で保証しています。まず、乾燥工程において、コンクリート基礎の含水率 約20%前後、木部(大引・土台・根太など)の含水率 約15%前後を目標基準とし、この数値まで確実に低下させることを乾燥完了の基準として保証いたします。

乾燥完了後には、含水率を測定・撮影し、結果をご報告いたします。万が一、規定の含水率まで低下しない場合は、当該数値に到達するまで乾燥期間を延長し、延長分の費用は一切いただきません。

また、豪雨・浸水による汚水臭、排水・漏水による硫黄臭・腐敗臭、カビ臭などについても、高圧バイオ洗浄・バキューム回収・消毒・防カビ処理・オゾンガス燻蒸を含む工程により、臭気除去を保証いたします。

工程内で十分な脱臭効果が得られない場合は、脱臭工程を追加で何度でも実施し、追加費用は発生いたしません。

単に「清掃する」「乾かす」だけでなく、数値管理と再発防止を含めた、水害復旧専門レベルの品質保証がアクサムの特長です。

### Q. 豪雨水災時に、行政では「床下の消毒は原則不要」や「無料消毒」を案内していますが、それでも御社のような専門的な消毒は必要なのでしょうか？

A. 行政の案内は、被災直後の生活再開を目的とした応急的・簡易的な衛生対策を想定したものです。実際に行われる消毒は、点検口や通気口からの簡易噴霧、消石灰や逆性石けんの配布などが中心で、床下の奥や構造部、隙間まで徹底的に処理する内容ではありません。

そのため、床下の奥・木部の隙間・配管まわり・湿気がこもりやすい死角など、菌・カビ・臭気が残しやすい場所は十分に処理されないケースが多く、時間が経ってからカビ・臭い・腐朽が再発するご相談も少なくありません。

アクサムでは、応急対応ではなく将来の再発防止まで見据えた専門復旧として、専用薬剤X590による床下全体の消毒・防カビ・防虫処理、さらにオゾンガス燻蒸による空間・隙間・臭気の元までの処理を行います。

行政の消毒は「やらないより良い応急対応」、アクサムの処理は「あとから困らないための専門復旧」です。床下環境をこのタイミングでしっかりリセットしておくことで、将来的なカビ・臭い・再工事のリスクを大きく減らすことができます。

### Q. 保険が下りる前に施工しても大丈夫ですか？

A. はい、多くのケースで保険金の支払い前に復旧工事を開始されています。水害復旧は「どれだけ早く排水・乾燥・衛生処理を行えるか」が、その後のカビ・腐朽・臭い・修繕範囲に大きく影響します。

水災時の保険適用の判断は、早ければ数日、状況によっては1ヶ月以上かかることもあります。その間に処置が遅れると、カビの発生や汚染の拡大、内装や構造材の交換範囲が広がり、結果的に復旧費用や工期が増えてしまうケースも少なくありません。

そのため、アクサムでは、保険適用の可能性が高い状況であれば、被害拡大を防ぐために先行して復旧作業を開始するという判断をされるお客様も多くいらっしゃいます。一方で、「保険適用が確定してから正式に着工したい」というご判断も、もちろん可能です。お客様のご状況・ご不安に合わせて、無理に急がせることなく、最適なタイミングをご一緒に判断いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。

### Q. 支払いのタイミングと方法は？

A. お支払いは、**工事完了後**に請求書を発行させていただき、原則として請求書発行日から1週間以内でのお支払いをお願いしております。お支払い方法は、下記に対応しています。

- ・現金
- ・銀行振込
- ・各種クレジットカード決済

なお、アクサムでは自社での分割払いには対応しておりませんが、クレジットカード決済後に、カード会社へ分割払いの変更手続きを行うことで、実質的な分割払いが可能な場合があります。分割対応の可否や条件については、ご利用のクレジットカード会社へ事前にご確認ください。

※保険対応案件の場合も、工事完了後のお支払いが基本となります。保険金の入金タイミングなどにご不安がある場合は、事前にご相談いただければ柔軟にご案内いたします。

水害復旧の精度は、  
設備のレベルに比例する。



米国製 水害復旧用 除湿乾燥機  
**Phoenix DryMAX XL**

1日最大 **約60リットル**の水分を除去。  
一般的な業務用除湿機とは次元の違う乾燥能力。  
基礎や木部の湿気・水分を強力に引き抜きます。

